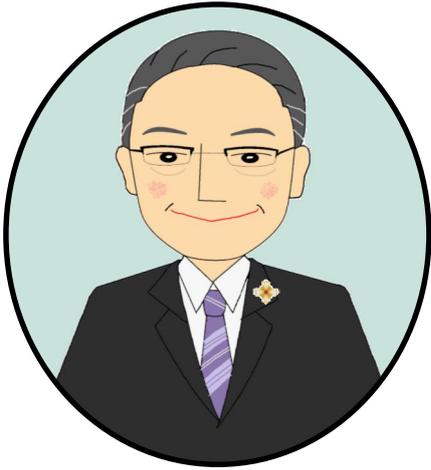


「おしえて！先輩」を見てくださっている方へ



S (H2年入庁)

検事長

ひと言メモ

人生は冒険だ！



私はロボットではありません。実在しています。検事生活34年、全国の検察庁（地検・高検・最高検）で勤務してきましたが、私が思うに、検察事務官というお仕事は、だいたい次のような感じかなと・・・。

1 20年、30年先の将来もなくなる、安定した仕事です。

検察庁の仕事は、犯罪と闘うことと、その後方支援です。（悲しいことではありますが）人間の自由な意思に基づく行為である犯罪と、これを取り締って法秩序を維持する必要性は、人類の歴史上、なくなったことはありません。

2 世のため人のためを実感できる、「やりがい」のある仕事です。

弱い立場の人たち（例えば、犯罪の被害者やその御家族）の側に立って犯罪と闘う仕事は、やりがいがあります。一方で、罪を犯してしまったけれど立ち直ろうとしている人たちの、社会復帰を助けることもできます。

3 正しい方向に変化し続けて、個人としても成長できる仕事です。

私たちの仕事は社会になくってはならない仕事だ、誰かがやらなければならないんだ、という誇りと使命感を持つことができます。時代や環境の変化に適応して、チームと個人が共に、強く正しく成長し続けることができます。

4 明るい職場で、一人一人の幸せなライフと両立できる仕事です。

検察の存在意義や使命は明確で、将来も揺らぐことはありません。その旗の下に集まった人たちは、立場・役割や個性・世代の違いを超えた一体感を保っています。それが、個人を尊重する明るい職場につながっています。

何となく感じがつかめましたか？キョーミを持った方や、まだギモンが残っている方は、「おしえて！先輩 Q&A」や、新企画の「若手×先輩職員対談」で、先輩からリアルでディープな世界を教えてもらいましょう。きっと（たぶん）、チームの一員となった自分の姿が具体的にイメージできると思います。

志ある皆さんと、うまく御縁が結べるといいですねえ。